



今回のシンポジウムでは、日立京大ラボの取り組みを紹介するとともに、Quality of Life の向上をめざし、生物や人の社会性に関する研究発表を通じて、新しい社会システムの可能性について探ります。

2. 日時

2020年2月10日(月) 13:00~17:30 (12:00 開場)

3. 場所

上野イーストタワー 2階 Main Meeting Room

<http://sasp.mapion.co.jp/b/hitachi/info/BA850382/?view=r>

4. 参加費：無料

5. 申し込み方法

下記 URL から直接お申し込み下さい

<https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hqrd/event2/form.jsp>

6. 申し込み期限：2020年2月7日(金)

定員 350 名になり次第、締め切らせていただきます。

問合せ先：日立京大ラボ 075-753-9716

7. プログラム（詳細は下記 URL のパンフレット参照）

<http://www.hitachi.co.jp/rd/event/index.html>

13:00~13:10 開会挨拶

木村俊作 京都大学 産官学連携本部 副本部長

鈴木教洋 日立製作所 執行役常務 CTO 兼研究開発グループ長

●●第一部：生物の社会性に学ぶ社会システムの可能性●●

13:10~13:45

「イヌはなぜヒトの友達になった？遺伝子からみる動物のこころ」

村山美穂 京都大学 野生動物研究センター 教授

13:45~14:20

「イルカの水中社会性」

酒井麻衣 近畿大学 農学研究科 講師

14:20~14:55

「アリ社会の研究は人間社会に何をもたらすか？」

土畑重人 京都大学 農学研究科 助教

休憩 15分

●●日立京大ラボ 研究紹介●●

15:10~15:40

「社会・環境・経済価値の定量化と QoL の向上」

嶺 竜治 日立製作所 基礎研究センター 日立京大ラボ長代行

●●第二部：人の社会性に学ぶ社会システムと QoL 向上の可能性●●

15:40~16:15

「ヒトの向社会的行動の生物学的基盤と QoL」

高岸治人 玉川大学 脳科学研究科 准教授

16:15~16:50

「人のコミュニケーションと QoL」

高田明 京都大学 アジア・アフリカ地域研究科 准教授

16:20~16:55

「風土建築から見える QoL」

小林広英 京都大学 地球環境学堂・地球環境学舎・三才学林 教授

17:25~17:30 閉会挨拶

西村信治 日立製作所 基礎研究センター長

以上